

## 2 目標達成計画

事業所名：ホームとよまね2号館

作成日：平成 26年 5月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。  
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、次のステップアップとして、言葉遣いや、素ぶり等も拘束の範囲と捉え幅広く研修を行うように期待したい。とアドバイスを頂きました。	言葉や素ぶりによる拘束についての研修会を行い、幅広い範囲での身体拘束防止に努める。	言葉による拘束や、素ぶりによる相手への影響を職員全員で話し合い、意見を出し合い、利用者の気持ちになって考え実践できるケアを実施する。また、接遇の研修も併せて行い、利用者にとって過ごしやすい施設を目指しケアを見直していく。	2 か月
2	33	前回の外部評価の結果から、家族の意向調査をおこなってはいるが、職員の看取りに対する意識確認も必要と思われる。研修等の機会を活かし、自分たちが出来る範囲を認識し、家族や地域資源等を活用する等関係者と連携しながら取り組まれることを期待したい。	現状でどこまでできるか、職員と話し合い、社会資源や関係者との連携も含め、検討し、指針を見直す。	終末期、重度化に関する研修会を行い、その中で職員の看取りに対する意識を確認する。指針を踏まえ、社会資源の確認、再調査も行い、現状で自分たちの出来る範囲を確認し、意識を統一出来るようにつとめる。	5 か月
3					か月
4					か月
5					か月